

令和3年度 放課後等デイサービスくらぐも  
保護者様による事業所評価結果（公表）

令和4年3月

回収率：100%（回答数17／配付予定数17）

No.	チェック項目	どちらともいえない		わからない	工夫している点	ご意見	ご意見を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	いいえ				
環境・体制整備	1 子供の活動のスペースが室内外で十分に確保されているか	17	0	0	定員10名とスタッフが利用しても十分なスペースとなっております。		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17	0	0	児童指導員、保育士、作業療法士、言語聴覚士、心理師等有資格者のスタッフならびにチームワーク、定員以上の配置をもって支援にあたらせていただいております。		
	3 事業所の施設設備は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17	0	0	室内には、大型ホワイトボードと大型液晶モニターを設置し、当日のスケジュール表、掲示板、情報ボードとして活用している。室内は段差や電磁波を抑え、建物はアレルギーを引き起こさない身体に優しい材料を使用し、24時間換気も行って全体的にユニバーサルデザインに配慮しております。		
適切な支援の提供	4 子供と保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	17	0	0	ASIST学校適応スキルプロフィールを活用し、「適応スキルの把握」と「特別な支援ニーズの把握」を行っている。また、「くらぐも全体支援計画」を準備し、利用者様のニーズにお応えできるように個別支援計画を作成している。		
	5 個別支援計画に沿った支援が行われているか	17	0	0	目標に沿った記録（連絡ノート、支援記録）ができるように、毎日、その日利用する子供たちの目標、具体的な支援を確認し、支援プログラムをシミュレーションしています。		
	6 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	17	0	0	室内と室外、粗大運動と微細運動、運動と休養または読書など、オンオフ、バランスを考え、活動にメリハリを持たせています。また、季節に応じた活動、学びの活動、管理整備活動、ショップ活動などを取り入れています。		
	7 他の児童施設等との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	16	0	1	野岳湖公園やのだけの森こうえんを訪れる方々や、交流会で知り合うお友だちなどと触れ合いながら、「ヒト・モノ・コト」コミュニケーションを高める機会を取り入れています。	ICTを活用し、ビデオ通話による交流なども含め、様々な方法で幅広い対象との交流ができるように準備を進める。	
保護者への説明等	8 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	0	0	契約時に「重要事項説明書」や「利用契約書」をもとに、できるだけわかりやすくご説明させていただいております。		
	9 日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子供の発達状況や課題について共通理解ができていくか	16	1	0	「連絡ノート」により個別に支援状況などをお伝えし、その他、お知らせや通信により、全体的な連絡をさせていただいております。また、保護者様からは検査結果やご相談など必要に応じて、連絡をいただいております。	○連絡ノートに様子は書いていただいているが、良い点ばかりで悪い点もあったと思うのでその時の様子も教えてほしい。	○ほとんどの利用児が、集団活動において感情や思考のコントロールがうまくいかなくなると、反社会的、非社会的な言動が見られる。どのような支援で集団活動に戻ったかなどについて状況が保護者に伝わりやすいよう作文や様式を工夫する。
	10 保護者に対して面談、育児に関する助言など家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	17	0	0	モニタリングに関わる面談などで共に支援者であるという立場で、ご助言ならびに情報交換、情報の共有をさせていただいております。		
	11 父母の会などの活動支援や、保護者参加の行事開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	0	1	活動報告会や行事見学ならびに参加等の機会を活用し、保護者様同士が出会える場を用意させていただいております。	○もう少し保護者、支援者の横のつながりがほしいです。	○NMK-P（のだけの森こうえんプロジェクト）や各種イベントへの参加や、合同勉強会などを通して、保護者様同士が顔を合わせる機会を増やす。
	12 子供や保護者からの相談や申入れについて、対応体制が整備されているとともに、子供や保護者に周知・説明され、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応されているか	17	0	0	ご利用上のご相談にはできるだけ対応をさせていただいております。		
	13 定期的に通信やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子供や保護者に対して発信しているか。	17	0	0	令和4年から月一回のペースで通信を、開設当初から、ホームページや、フェースブック等で情報を発信させていただいております。また、お知らせや、利用調査票等で行事等の予定もお伝えさせていただいております。		
	14 個人情報の取扱いに十分注意されているか	17	0	0	個別に「個人情報使用同意書」をいただいた上で、必要最小限度内で個人情報を使用し、取り扱いには細心の注意を払わせていただいております。		
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。	12	1	0	4	各種マニュアルは、事業所として策定し準備ができておりますが、「緊急時対応マニュアル」や、「防犯マニュアル」については、十分に皆様にご説明ができておりません。通信等を通じて順次ご紹介させていただく予定です。	○各種マニュアルの掲示場所、掲示方法について再検討し、内容については、通信なども活用し、周知を図る。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	0	0	2	活動プログラムの中に組み込み、二日間かけて実施しました。物干しと毛布を使った担架でお友達を運ぶ体験をしたり、目や足を負傷した人を避難場所まで移動する体験を行いました。	○避難・救出訓練を支援プログラムに定期的に盛り込み、利用している子供とその保護者に実施されていることが伝わるようにする。
満足度	17 子供は通所を楽しみにしているか	16	0	1		○毎回（週）楽しみにしている。 【3】 ○次の利用を待ち遠しくしている。 ○仲良しの友達もでき、親としても安心して。調子が楽しいと言っている。 ○下の子は楽しみ、上の子はそうでもないときが出てきた。	○子どもたちにとっての「楽しみ」を拡張しながら支援活動を行っている。自由に、のんびりできるというイメージの「楽しみ」から「やってみよう」「しらべてみよう」など挑戦できる楽しさや、分ける楽しさというイメージに広げ、行く行くは自分を作っていくこと（自己理解・自己形成）に興味を持たせたいと考えている。
	18 事業所の支援に満足しているか	17	0	0		○臨機応変に対応していただいた。 ○自然の中で、様々な方と関わりながら学んで成長しているように思う。 ○少しずつですが、成長することができた場面を見ることができてうれしい。先生方に感謝している。 ○「今日は〇〇したよ！」としっかり言葉で伝えてくれるようになった。色々な体験をさせてもらって嬉しい。	○当事業所の支援活動に好評をいただいた。さらにこの声が届くように日々研鑽と修養に励みたい。

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、「令和3年度 放課後等デイサービスくらぐも保護者様による事業所評価」により保護者様に事業所評価を行って頂き、その結果を集計したものです。